

# 朝日山だより



社会福祉法人 あさひ会

生活介護事業所 朝日山学園

グループホームあさひ

ヒューマンサポートタッチ

佐賀県東部発達障がい者支援センター結

〒841-0073

佐賀県鳥栖市江島町字西谷 3300-1

TEL (0942) 84-3266

(0942) 81-5409 (支援員室)

FAX (0942) 84-3286

☆祝日の様子(洗車)☆

「グループホームあさひが目指すもの」

グループホームあさひ 管理者 菅 洋平

当法人の理念に共感し15年前に入社、朝日山学園やグループホームの支援者を経て、令和4年1月よりグループホームあさひの管理者に就任致しました。

グループホームあさひを利用されている方は重い障がいを有されている方ばかりです。その為、多くの支援を必要とされます。しかし、グループホームを取り巻く環境は決して充実された環境ではなく、特に重い障がいを抱えた方たちが生活する上で、多くの課題を抱えているのも現状です。利用者の方の生活の充実や安心・安全を心掛けた体制つくりで欠かせない人材確保の課題は、決して当グループホームだけではなく、他の事業所の多くが抱えている課題だと伺っています。

限られた人材の中でいかにして利用者の方が安心して安全に生活できるのか模索し、グループホームあさひでは現在、日中の活動場所である朝日山学園や、訪問リハビリ・訪問看護など、現存する社会資源を活用して利用者の方の生活の充実を図っています。

その訪問リハビリを受けられている方のお一人であるKさんは、年齢とともに体が前傾姿勢になりがちで、少しの段差でも転倒されることが多くなり、昨年より週2回の訪問リハビリを利用されています。訪問リハビリと日中の散歩と体を動かす機会が増え、以前より転倒が減り、歩く事に自信を持たれている様子がみられます。このように、利用者のニーズに沿って必要なサービスを提供し、利用者の方の生活の充実を図るよう努めています。また、利用者の方が安心して生活できるよう、外部ヘルパーを利用し、人材を確保しながら支援を進めています。利用者の方のニーズを汲み、安心して安全に生活できる環境をいかに整えて行けるかが、「重い障がいを持った方が、那人らしく生活できる場所」の提供に繋がるのではないかと思います。

これからも充実した生活の提供ができるグループホームを目指していきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## ～行事報告～

### 【ピクニック（令和4年5月～6月） 上峰中央公園・中原公園】

今年度も新型コロナウィルスの感染に十分に配慮しながら、毎年恒例のピクニックを実施しました。近隣の公園にて、園内の散策と自動販売機でのジュース購入、お菓子の提供を行っています。自動販売機の前で「どれにしようかな？」と悩んだり、爽快にジュースを飲み干す利用者の皆さんの表情がとても印象的でした。利用者の皆さんにとって束の間の楽しみでしたが、好天のもと喜んで頂けて嬉しく思います。

（支援主任 中西）



## ～日中の取り組み～

### 【トレー拭きについて】

学園では自立して取り組める役割の一つとして、昼食で使用するトレーを消毒して拭き上げる取り組みを行っています。今現在3名の利用者の方がトレー拭きを担っています。

Hさんは全てのトレーを一人で拭き上げます。枚数が多い分、タオルを3枚使用し、1枚のタオルで拭くトレーの枚数を提示すると、その枚数分を拭き上げた後に次のタオルに交換されています。Nさん・Sさんは半分ずつに分けて取り組んでいます。以前、何回吹きかけるのは行程表で伝えていましたが、どこに吹きかけるのかは伝えずらく、現在はスプレー用の箱を使用しています。スプレー用の箱には「吹きかける穴」と「吹きかける回数」も明記し、「どこに」「何回」吹きかけるのか明確に伝わり、最後の1枚まで同じ流れで取り組むことができています。

それぞれの方に合わせた必要な手立ての下、3名の利用者の方が自信を持って取り組んでおられる姿はとても頼もしく感じます。トレー拭きを通して得る自信や経験を、また別の機会でも活かせていくのではと期待しています。

（支援係長 古川）



## ✿ペットボトルの寄付について✿

朝日山学園では日々ペットボトル作業に取り組んでおり、作業工程の中でペットボトルキャップがたくさん集まります。ペットボトルキャップを通して、少しでも地域の方々とつながりが持てたらという思いで、今年からペットボトルキャップを鳥栖市立基里小学校様に寄付させて頂くようになりました。ペットボトルキャップを快く受け入れてくださった基里小学校様には心から感謝しております。これからも、活動を通して地域の方々との関わりが広がっていけたらと思います。



## きょうだいの想い

### 【U 氏 姉より】

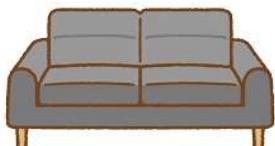
今私は、大分県で児童発達支援管理責任者として働いている。毎日、発達障がいの子どもたちに囲まれ、忙しくもあり楽しい日々を過ごしている。そもそも、なぜ私が福祉の道に進んだか… それは妹がいたからだと思う。

記憶にあるのは家族で出かけた際に、阿蘇山の火口に妹の靴が弾みで跳んでしまい、裸足で帰った事や自宅の窓から外を見ていた妹が「キタ！」と言いそのままバスに乗って行方不明になった事等、当時は「何で！？」と困惑した事も、今では笑って話せるようになっているから面白い。一緒にいる時に奇声やジャンプをして恥ずかしい思いもしたが、その分色々な人に支えられている事に気づけたのかもしれない。色々な職業がある中で、障がいとか子どもというキーワードで保育士を選び、現在の仕事に繋がったうえに、実際に経験した事が保護者支援の一端を担っているのだから、感謝しかないのかもしれない。

両親も70歳を超え、姉妹もアラフィフという年齢に差し掛かり、先の事を考えねばならなくなってきたが、今は妹が妹らしく生活できるように支えてもらっている現状に感謝すると同時に今後も宜しくお願いします。



## ✿ソファを探しています✿



利用者の方が休憩中に使用するソファを探しています。ご家庭などで使用していない物がありましたら、お譲り頂けないでしょうか？  
ご連絡お待ちしております。

(朝日山学園支援室 Tel : 0942-81-5409 担当 田中)

## ☆新しい職員の紹介☆



### 【グループホームあさひ】 横尾 香織さん

今年4月からグループホームあさひに勤める事になりました。初めての勤務なので勉強する事がたくさんあります。利用者の方達に安心を与えられるような対応を心掛けていきたいです。

### 【ヒューマンサポート・タッチ】 林 文昭さん

地元の鳥栖・三養基地区消防事務組合を定年退職し、約10年間、別の高齢者・障がい者施設の経験を経て、今年8月からヒューマンサポートタッチにサービス管理責任者としてお世話になっています。これからも、どうぞよろしくお願い致します。

## ◎寄付者ご芳名

令和4年3月～令和4年7月

匿名様 福島 ツル子様

前田 裕子様 福島 一雄様

上尾 央子様 橋本 健男様

医療法人野田内科設置の募金箱に募金頂いた皆様

佐賀カントリー倶楽部チャリティゴルフ大会参加者御一同様

## ◎3月～8月行事等【朝日山学園】

3 月	11	ケース会議	6 月	2	誕生会
	16	献立会議		8	支援者の為の療育講座
	18	ケース会議		10	ケース会議
	23	誕生会		16	献立会議
4 月	4	新年度利用開始	7 月	17	ケース会議
	14	献立会議		24	職員会議
	15	ケース会議		27	家族会
	18	誕生会		8	ケース会議
	22	職員会議		11	誕生会
5 月	25	家族会	8 月	13	献立会議
	29	ケース会議		15	ケース会議
	2	支給金		22	職員会議
	6	環境營繕		29	ケース会議
	10	誕生会		9	誕生会
	13	ケース会議		12	ケース会議
	18	献立会議		18	献立会議
	20	ケース会議		19	ケース会議
	27	職員会議		26	職員会議

\*料理教室 6月・8月

\*音楽活動 3月～8月（グループに分かれて実施）

### ■編集後記

日頃からの資源物回収に加え、今年度から始まったペットボトルキャップ寄付を取り組む中で、利用者の方が「ダンボール回収は?」の他に「キャップはいつ出しに行くの?」とスタッフに伝えてくれるようになりました。資源回収や寄付を通して地域の方々と関わることは、利用者の方にとっても地域に貢献できる貴重な機会でもあり、自信ややりがいがその方の生活の幅を広げることに繋がっていると思います。改めて、地域の方々には、あさひ会の活動にご理解・ご協力を頂き、支えて頂いている事を実感しています。今後もこのつながりを大切に、感謝の気持ちを忘れず支援を進めていきたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願ひ致します。

（田中）